Title	日本産オニクマムシ類(緩歩動物門)の分類および生殖様式に関する研究					
Sub Title						
Author	Reproductive biology and taxonomy of Milnesiidae (Tardigrada) in Japan.					
	鈴木, 忠(Suzuki, Atsushi) 唐應美頭大学					
Publisher	慶應義塾大学					
Publication year						
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)					
JaLC DOI						
Abstract	Milnesium(オニクマムシ属)はかつて1属1種と考えられたが、1990年代から現在までに世界で約30   種が記載された。日本でも普通に観察されるオニクマムシは全て未同定のままである。基準種M.   tardigradum Doyère, 1840は各爪に2本ずつある副枝に各2個と3個の尖頭を持つ(= [2-3]型)が、   日本には副枝が[3-3]型のものが少なくとも2種存在し、   さらに北海道には[2-3]型も分布することが知られていた。   2016年に沖縄で得られたオニクマムシ幼体の表皮には特徴的な点描構造があり、   未記載種あるいは国内未報告種だと考えられた。2017年にその追加サンプリングを行い、   より詳しい形態観察および遺伝子配列解析を行い、その記載に向けての準備をしている。また、   伊豆詰島の御蔵島では、緩歩動物の調査が一度もされていないため、今回初めての採集調査を行い、   少なくとも14種のクマムシが得られた。その中には1種のオニクマムシも含まれていた。今後それ   6の分類学的な精査をする予定である。その他にも日本のいくつかのサンプルから未知のオニク   マムシが見つかってきた。これら追加された情報を加味し、現在では日本のオニクマムシ類には[2-3]タイプの種がそれぞれ少なくとも2〜3種ずつ含まれることが明らかとなってきた。   3月タイブの種がそれぞれ少なくとも2〜3種ずう含まれることが明らかとなってきた。   これら日本産種は全て産雌単為生増をしていると考えられる。   ー方、2014年〜2015年にかけて隊員として参加した第56次南極地域観測において得られたオニク   マムシ美気く見なることが判明している。またこの種にはオスが存在し、   またが見てなってきた。   この市名年配は全て産雌単為生増をしていると考えられる。これらの生態、   形態あよび遺伝されが存在し、   たたメス単独の飼育による繁殖が失敗に終わったことから、   この商権集団は有性生殖による繁殖が大敗に続わったことから、   この商権集団を削り情報を総合した新種記載款支を増備中である。   Nilinesium has ever been thought as a cosmopolitan monospecific genus of tardigrade, but affer   1990's、about 30 species have been distinguished and described. The type species, M.   tardigrade ないたいをすいたいたいたり手ので   Specimens obtained in 20					
Notes						
Genre	Research Paper					
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170041					
UIL						

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2017年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	医学部(日吉)	職名	准教授	拔曲姬		<b>A</b> ) <b>T</b>
	氏名	鈴木 忠	氏名(英語)	Atsushi C. Suzuki	──補助額	300 (	A)千円
		 研	究課題(日本語	语)	•		
日本産オニクマ	ムシ類(緩歩重	助物門)の分類および生殖様式	に関する研究				
		쥮	开究課題(英訴	()			
Reproductive b	iology and taxo	nomy of Milnesiidae (Tardigra	da) in Japan.				
			研究成果実績(				
に観察されるオ 個の尖頭を持つ	ニクマムシは	よかつて1属1種と考えられた 全て未同定のままである。基準 、、日本には副枝が[3−3]型の:	售種 M. tardigrad	lum Doyère, 1840 は各爪に 2	本ずつある副材	支に各2	2個と3
られていた。	里で但これたナ	ニクマムシ幼体の表皮には特	恋めたち世港	生がない キョ栽種なるいけに	同内土却生活だ	レ去ラご	th to
		ークマムク切体の表反には特 ・グを行い、より詳しい形態観3					
		緩歩動物の調査が一度もされ					
		Dオニクマムシも含まれていた トニクマムシが見つかってきた					
	-3]タイプの種カ	がそれぞれ少なくとも 2~3 種で					
		いけて隊員として参加した第 5	6 次南極地域観	見測において得られたオニクマ	マムシ類の1種で	は、爪	の副枝
		の他の全てのオニクマムシと					
		こ終わったことから、この南極身 合した新種記載論文を準備中		による繁殖を行っていると考	えられる。これら	の生態	、形態
2220,6121月	L ンリマン   F] + K C_ 1%G	ロロに利住む戦闘へと十個イ					
			成果実績の概要				
		ught as a cosmopolitan monos The type species, M. tardigrad					
		) Although Milnesium spp. has					
		all over Japan and a $[2-3]$ ty				<del></del>	which
		va Island in 2016 have [2–3] · ies or a new record in Japan.					
molecular analy	vses are now o	continuing. Another sampling	in Mikurajima Is	sland (Izu Islands), where no	research on tai	rdigrade	es have
		east 14 tardigrades including a [[3-3] types Milnesium spp., w					least 2
-		m sp. from East Antarctica, t					(2014–
		with 4-7 points. This species					
its description		iled to lay eggs without a mal g.	e. With observa	itions of its life history, morp	hology and mole	cular a	nalysis,
			研究課題に関す	hる発表			
発表者 (著者・	f氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)		発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	学術誌3 (著書発行年)		
Suzuki AC		Male in parthenog tardigrades.	-	nd International Congress of y, Okinawa Japan.	16 Nov, 2016		
Suzuki AC,	Tsujimoto M.	An undescribed tardigrade of		th Symposium on Polar	29 Nov. 2016		
Kagohima H, Imura S.		Milnesium from Inhovde,	East Scienc	e, National Institute of Polar			
	<b>.</b>	Antarctica.		ch, Tachikawa, Japan			
湊廣輝、杉浦做 鈴木忠	≣太、松本緑、	日本産 Milnesium cf. tardig について	gradum  日本 <u>朝</u> 会、四 <sup>、</sup>	物学会関東支部第 70 回大 ッ谷	21 Mar, 2018		
		緩歩動物クマムシの有性生 雄の違いと求愛・交尾行動(		物学会第 88 回大会、富山	21 Sep, 2017		